

平成 20 年 6 月 9 日

報道機関 各位

東北大学流体科学研究所

第 40 回流体力学講演会／航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム 2008
一般公開特別講演のご案内

来る平成 20 年 6 月 13 日（金）に開催される「第 40 回流体力学講演会／数値シミュレーション技術シンポジウム 2008（本学流体科学研究所が共催、主催は日本航空宇宙学会、JAXA、日本流体力学会）」におきまして、下記の通り一般公開特別講演を行います。

今年は 1978 年 6 月 12 日の宮城県沖地震から 30 年目の節目であり、今後発生することが確実視される地震への防災の観点から、今村先生のご講演は非常に意義深いものとなります。また竹中先生は、我が国独自の技術で開発されている純国産ジェット機・MRJ（三菱リージョナルジェット）の設計開発に携わっておられ、開発に用いられている技術をわかりやすく解説して頂く予定です。

ご多用中恐縮ですが、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時： 平成 20 年 6 月 13 日（金） 13:00～15:00

場所： 東北大学片平さくらホール

(<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/sakura/newpage1.html>)

13:00～13:50

講師：今村 文彦 氏（東北大学大学院工学研究科 教授）

演題：最近の地震・津波の被害と次への備え

14:10～15:00

講師：竹中 啓三 氏（三菱航空機株式会社）

演題：MRJ 開発における CFD を用いた空力設計技術の概要と今後の課題

以上

連絡先：東北大学流体科学研究所 加藤琢真，大林 茂
TEL：022-217-5387，022-217-5281